

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2010-516615(P2010-516615A)

【公表日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-547421(P2009-547421)

【国際特許分類】

C 0 5 G 3/00 (2006.01)

C 0 5 G 3/08 (2006.01)

C 0 5 G 5/00 (2006.01)

C 0 5 B 7/00 (2006.01)

C 0 8 L 35/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 F 222/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 5 G 3/00 Z

C 0 5 G 3/08

C 0 5 G 5/00 A

C 0 5 B 7/00

C 0 8 L 35/00

C 0 8 K 3/00

C 0 8 F 222/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

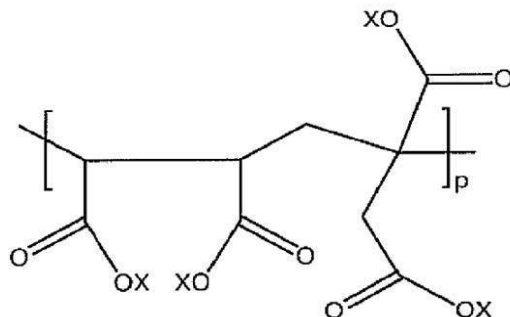
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式で表される酸または一部塩形態の共重合体を含む、pHが約2以下の水性高分子混合物。

【化 1】



式中、Xは、H、Ca、Mg、Zn、Cu、Fe、Mn、Co、Niおよびこれらの組み合わせからなる群より選ばれるカチオンであり、pは約10～500の範囲内である。

【請求項 2】

請求項 1 の高分子混合物を土壌に適用する工程を含む方法。

【請求項 3】

前記共重合体とともに所定量のアンモニア性含窒素肥料を含む請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 4】

前記共重合体が約 0 . 0 1 ~ 2 体積 % の割合で存在する請求項 3 に記載の高分子混合物。

【請求項 5】

前記割合が約 0 . 5 体積 % である請求項 3 に記載の高分子混合物。

【請求項 6】

前記共重合体とともに一定量のホスファート肥料をさらに含む請求項 3 に記載の高分子混合物。

【請求項 7】

前記共重合体の分子量が約 3 0 0 0 であり、p H が約 1 であり、かつ前記 X 置換基の少なくとも一部が H で、残余の X 置換基が C a である請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 8】

前記共重合体の分子量が約 1 5 0 0 以上である請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 9】

前記共重合体が、室温で緩やかな攪拌により少なくとも約 5 % w / w の割合で純水に分散または可溶性である請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 10】

前記 X 置換基の少なくとも約 1 0 % が、C a 、M g およびそれらの組み合わせからなる群より選ばれる請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 11】

前記共重合体の分子量が約 3 0 0 0 であり、p H が約 1 であり、前記 X 置換基の少なくとも一部が H で、残余の X 置換基が C a である請求項 10 に記載の高分子混合物。

【請求項 12】

前記 p H が約 1 以下である請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 13】

前記 X 置換基の少なくとも一部が H で、残余の X 置換基が C a 、M g およびそれらの組み合わせからなる群より選ばれる請求項 1 に記載の高分子混合物。

【請求項 14】

請求項 3 の高分子混合物を土壌に適用する工程を含む方法。

【請求項 15】

前記 X が、H 、C a 、M g およびそれらの組み合わせからなる群より選ばれる請求項 1 に記載の高分子混合物。